

II 平成23年度新体力テストの結果

1 調査の概要と調査協力校

(1) 調査の概要

① 調査の目的

県下の児童生徒の体力・運動能力の実態を把握し、今後の体育指導の改善及び基礎体力養成の資料とする。

② 調査の対象と人数

ア 小学校	1 ~ 6学年の男女児童	60校	16,856人
イ 中学校	1 ~ 3学年の男女生徒	40校	15,035人
ウ 高等学校	1 ~ 3学年の男女生徒	12校	6,254人
	総計	112校	38,145人

③ 調査協力校の抽出方法

ア 調査協力校の抽出

- 地域等を配慮して抽出する。
- 原則として、小学校は平成12年度、中学校は平成14年度以降に協力校指定を受けていない学校を選定する。
- 高等学校にあたっては、以前の順番を考慮して依頼する。

イ 各校における提出人数

- 各学校における提出調査人数は、原則として各学年男女全員とする。ただし、事情により全員提出できない場合は、相談に応じる。

④ 調査実施の期間

平成23年5月～10月

⑤ 調査の内容と方法

ア テスト項目

- 小学校1年～6年(6歳～11歳対象)

	項目		項目
1	握力	5	20mシャトルランテスト
2	上体起こし	6	50m走
3	長座体前屈	7	立ち幅とび
4	反復横跳び	8	ソフトボール投げ

- 中学校1年～高等学校3年(12歳～17歳対象)

	項目		項目
1	握力	5	20mシャトルランテスト又は、持久走のどちらかを選択
2	上体起こし	6	50m走
3	長座体前屈	7	立ち幅とび
4	反復横跳び	8	ソフトボール投げ

イ 実施について

文部科学省スポーツ・青少年局から示されている「新体カテスト実施要領」により実施する。

(留意事項)

- 事前に測定の意味や方法(特に新種目)を十分理解させ、実力が十分発揮できるように指導をする。
- 反復横跳びのラインの間隔は小学生・中学生・高校生ともに1mとする。
- ソフトボール投げのボールは1号球、ハンドボール投げのボールは2号球とする。
- 測定器具については、握力計の精度について留意する。

⑥ 集計処理

平成15年度から新体カテストの集計処理は、「新体カテスト集計システム」を活用し、長野県教育委員会事務局スポーツ課において行う。(平成23年度新集計システム更新)

(2) 調査協力校

① 調査協力校

	小学校(60校)	中学校(40校)	高等学校(12校)
東信	8校	8校	2校
南信	16校	11校	3校
中信	19校	12校	3校
北信	17校	9校	4校

イ 実施について

文部科学省スポーツ・青少年局から示されている「新体カテスト実施要領」により実施する。

(留意事項)

- 事前に測定の意味や方法(特に新種目)を十分理解させ、実力が十分発揮できるように指導をする。
- 反復横跳びのラインの間隔は小学生・中学生・高校生ともに1mとする。
- ソフトボール投げのボールは1号球、ハンドボール投げのボールは2号球とする。
- 測定器具については、握力計の精度について留意する。

⑥ 集計処理

平成15年度から新体カテストの集計処理は、「新体カテスト集計システム」を活用し、長野県教育委員会事務局スポーツ課において行う。

(2) 調査協力校

① 調査協力校

	小学校(30校)	中学校(20校)	高等学校(12校)
東信	臼田 切原 中佐都 浦里	浅科 小諸東 菅平 第二(上田市)	望月 北佐久農業
南信	両小野 箕輪南 富県 小井川 金沢 松川北 清内路 根羽 豊丘北	辰野 赤穂 長峰 高陵 根羽	諏訪清陵 飯田 阿智
中信	明南 豊科北 源池 三岳 池田 白馬南	生坂 菅野 南木曾 日義 王滝	松本工業 松本美須々 白馬
北信	南(山ノ内町) 古海 安茂里 信田 寺尾 保科 綿内 松ヶ丘 緑ヶ丘 永田 東(飯山市)	東(須坂市) 戸隠 芋井 南宮 坂城 埴生	長野工業 屋代 屋代南 坂城